

児童の実態

- 指示されたことに対して熱心に取り組む
- 明るく素直で友達にも優しい
- △自身や自分の考えに自信がもてない
- △知識をもとに考えを生み出すことが苦手である
- △自己判断や自主性、たくましさに課題がある

保護者・地域の願い

- 思いやりをもって仲良く、楽しく活動する子
- 自信をもって行動し、粘り強く取り組む子

教師の思い

- わかる・楽しい・さらに学びたいと思う授業づくり
- 互いに認め合い、高め合える学級づくり
- 地域に学び、地域に愛される学校づくり

学校教育目標

「自己の成長をめざし、仲間ともがんばる子」の育成

めざす児童像

全力！「いーすくと」東の子

研究主題

主体的に学び、対話を通して
考えを深め合う児童の育成

重点目標

い き い き	共に生きる喜びを感じる子 思いやりをもって接する子 みんなのために働く子
す く す く	元気で活力のある子 困難にめげずにやりとげる子 丈夫な体をつくる子
と ん ど ん	自ら進んで学ぶ子 自ら考え解決できる子 自信をもって行動できる子

確かな学力

- 1 主体的な学びと個別最適な学びに向けた授業作り
- 2 対話を通して考えを深め合う力の育成
- 3 基礎・基本の定着とICT活用との連携

豊かな心

- 1 規範意識と多様性を認め合う心の育成
- 2 自己効力感+自己有用感
→自己肯定感の醸成
- 3 より良い集団作りを目指した主体的・対話的な活動の推進

健やかな体

- 1 効果的な体力づくりの推進
(環境作りやカリキュラムの工夫)
- 2 健康教育・食育の充実
- 3 望ましい生活習慣の確立

信頼される学校

- 1 開かれた学校づくり
- 2 子供が安心できる学校づくり
- 3 ふるさと教育の推進

○具体的な取組と ◇検証の手法

- 子どもの主体的な学びと個別最適な学びに向けた授業作り
◇課題(テーマ)設定・学習形態・学習法の工夫ができたと答える教員90%
- 対話を通して考えを伝え合う力の育成
◇相手の考えを聞き、自分の考えと比べたり合わせたりして考えることができた児童 90%
- ICTを効果的に活用し、基礎・基本の定着を目指した授業作り
◇授業を終えて、できた・わかったと答える児童 90%

- 道徳教育・人権教育の充実
◇自分と相手との違いを理解したり友達と協力して行動したりできた児童 85%
- 「自分ならできる」「自分は役に立っている」の気持ちを高める活動の推進
◇自分は大切な存在だと感じる児童 90%
- ポジティブ教育(半期に3回以上)および異学年との交流活動の推進による居ごこちのよい集団づくり
◇学級・学校が楽しいと感じる児童 90%

- 体育授業の充実と児童の体力維持向上
◇進んで体を動かし、運動を楽しむことができた児童 95%
- 保護者と連携した「早寝・早起き・朝ご飯」等の望ましい生活習慣の確立
◇「しっかりと睡眠がとれた」と答える児童・保護者 85%
- 保護者と連携した「鯖東スマートルール」遵守の推進
◇鯖東スマートルールを守れたと答える児童・保護者 80%

- 学校公開およびHP・Home&School・連絡帳等を活用した児童の様子の情報発信
◇学校での子供の様子が伝わったと答える保護者 90%
- 危機管理意識の向上とそれに向けた具体的な取り組み(いじめ・不登校の未然防止・早期発見)
◇危機管理(未然防止と早期解決)に努めたと答える教員 100%
- ふるさとの魅力(自然・産業・伝統・歴史)を学び広げる学習の推進
◇ふるさと鯖江のよさを知り、ふるさと鯖江を大切にしたいと感じる児童 90%

学校評価例

◇自分と相手との違いを理解したり友達と協力して行動したりできた児童

- ・相手に親切にしたり(やさしくしたり)、友達と協力して行動したりできた(低学年)
- ・相手の気持ちを考えたり、友達と協力して行動したりできた(中学年)
- ・自分と相手との違いを理解したり友達と協力して行動したりできた(高学年)

◇自分は大切な存在だと感じる児童

- ・自分ならできると感じている (低学年)
- ・自分は役に立っていると感じている (中学年)
- ・自分は大切な存在だと感じている (高学年)